

シャリンバイ

[木本] 《嗜好》



海岸林では矮小化している。照葉樹林内では小高木になる。



裏面の葉脈が見える。



梅のような花。

区別のポイント

葉は長楕円形の厚い革質で光沢があり、縁は浅い鋸歯がまばらにある。裏面で側脈は隆起しないが黄緑と緑色の濃淡ではっきりと網目に見える。海岸や海岸近くの山地。

形態 常緑低木～小高木。高さ1～4 m。

分布 本州中部以西

名前の由来 梅のような花が咲き、枝葉が輪生状に出ることから。

葉 **〈全体〉**長楕円形～倒卵円形で長さ4～8 cm、幅2～4 cm。革質。
〈付き方〉輪生状の互生。
〈葉柄〉短い。
〈基部〉くさび形。狭まって葉柄となる。
〈葉先〉鋭頭から円頭。
〈縁〉まばらな浅い鋸歯。

備考 西部地域。

出典 1 4